



令和5年度『椎葉焼畑研究会』のご案内

椎葉村の焼畑は、先人から受け継いだ「種」を切らさないとの教えを守り、脈々と続けられてきた**環境と調和した伝統的な農法**です。この焼畑を含む、当地域の山間地農林業や伝統文化、生物多様性は、「山間地農林業複合システム」として、**国連食糧農業機関（FAO）の「世界農業遺産」に認定**されています。

この**焼畑を将来に渡って継承**していくために、平成28年度から「**椎葉焼畑研究会**」を開催しており、これまで、**普及啓発冊子「椎葉の焼畑」、「椎葉の焼畑手順書」**を作成、さらに焼き畑や棚田の**生物多様性に関する調査**を行い、「**生き物ハンドブック**」としてまとめました。そして**焼畑の精神を伝える絵本「りんたろうといのちの種」**を製作し、村内すべての小学生に配布するほか、全国各地への配布活動を行っております。

今回の研究会では、**2019年に約半年間本村に滞在し、村内に自生するヤマチャ（山茶）の生態や、釜炒り茶の利用**、について研究された研究者の**磯田 真紀 氏**をお招きしてご講演頂きます。それを踏まえて参加者の皆様に意見交換を行います。また、早くから**焼畑の普及啓発に取り組み、焼畑を将来にわたって持続可能な活動にするために、地域おこし協力隊と協働したガバメントクラウドファンディング に挑戦し、目標額を達成された焼畑蕎麦苦楽部のみなさんの**活動発表をして頂きます。焼畑に関心をお持ちの村民の皆さま、村外の皆さまの多くのご参加をお待ちしております。

日時：**3月15日（金）13:30～16:00（受付開始13:00）**

会場：**椎葉村開発センター**

（宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1761番地1）

内容：○**活動発表**

「**焼畑を持続可能にするための
ガバメントクラウドファンディング取り組み**」
椎葉 勝 氏(焼畑蕎麦苦楽部)
山之内 裕信 氏（地域おこし協力隊）

○**講 話**

「**椎葉村におけるヤマチャの生存と利用**」
磯田 真紀 氏

○**意見交換** 焼畑作物の活用方法や価値等に関する意見交換

お問合せ・申込み：椎葉村農林振興課 農業振興グループ 山中千夏
TEL: 0982-67-3206 FAX: 0982-67-2825
email: yamanaka-chika@vill.shiiba.miyazaki.jp

◆「**椎葉焼畑研究会**」とは

焼畑の普及啓発を目的として平成28年に発足。焼畑の歴史、作業・手順の定型化、栽培する農産物、植栽する樹種、森づくりや生物多様性などについて調査を行うとともに、専門家の助言を得ながら普及啓発のための冊子や手順書を作成。
主催：椎葉村 共催：焼畑蕎麦苦楽部、夜狩内焼畑継承会、尾前里山の会



椎葉 勝 氏
焼畑継承者。
焼畑蕎麦苦楽部代表。
焼畑農法の普及継承を軸に組織活動を充実させ、体験イベントや環境保全にも活動の幅を広げている。



山之内 裕信 氏
地域おこし協力隊
令和5年度から秘境のインタープラーをミッションとして椎葉村で活動。
焼畑蕎麦苦楽部とはガバメントクラウドファンディングの仕掛け人として協働。



磯田 真紀 氏
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 特任研究員・専門は森林管理学・植物生態学。2019年椎葉村に半年間滞在し、ヤマチャ（山茶）の生態や釜炒り茶利用、森林景観との関係について研究活動を実施。